

2023. 5月13日 土

- 開場:13:30 / 講演:14:00
 - 総会:16:00
 - 会場:越谷市中央市民会館 4・5・6 会議室 (5階)
- *総会、講演会ともに、どなたでも参加できます。入場無料です。お待ちしております。

●記念講演

非戦の安全保障論 (仮)

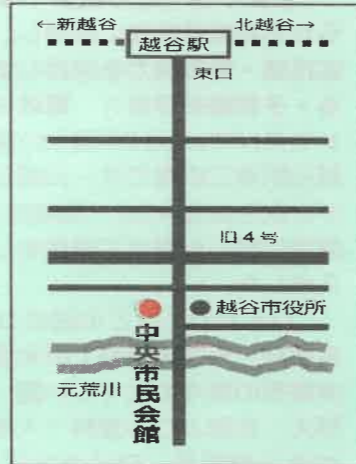
——ウクライナ以後の日本



講師 柳澤協二さん

1946年生。防衛庁運用局長、人事教育局長、官房長、防衛副官長を歴任。2004年から2009年まで、小泉・安倍・福田・麻生政権のもとで内閣府の「安全保障政策と危機管理」を担当。現在、NPO国際地政学研究所理事長。著書『自衛隊の転機—政治と軍事の矛盾を問う』(NHK出版新書)、『新安保法制は日本をどこに導くか(さよなら安倍政権)』(かもがわ出版)、『中国の集団的自衛権』(集英社新書)、『非戦の安全保障論——ウクライナ戦後以後の日本の戦略』(集英社新書/共著)など多数。

講演のあと、16:00から総会を行います。



越谷九条の会ニュース

事務所 〒343-0813 埼玉県越谷市越ヶ谷 1-11-35 吾山ビルⅡ 3F 石河綜合法律事務所内 TEL.048-964-7511 FAX.048-964-5280 郵便振替 00140-3-426889 越谷九条の会

9条改憲 NO!



埼玉弁護士会による「憲法に自衛隊を書き込むことに反対する」パレード (3月8日/p.2に報告記事)

“亡国”のスマホ

安藤博

《スマホスマホ》

いつも見慣れている光景なのに、桜にはつらい雨の日、地下鉄の座席で見た向いの座席の様子が、突然異様なものに思えてきました。7人掛け座席の7人がそろいもそろってスマホ(スマートフォン)をちょこちょこやっている。向いばかりでなく、見渡せば車両の前方後方も、そういえば隣席も。

他ならぬ自分も、ちょっと前までスマホに取りついて、車中から急ぎの連絡をしたりしていた。それなのに、立っている乗客を含めてスマホスマホの姿がなんとなく奇怪なものであることに気付いたのです。そして思いは飛んで、「これじゃあ、生まれる赤ん坊の数が減っていくわけだ」と。

背中を丸めてスマホに没頭する姿のなんとみすばらしいことか。それがひとりやふたりではない。JR、私鉄の電車内の様子を改めて見ると、7人掛けの座席では決まって5人以上が同じ姿です。そのことに気付くと、それが異常とされずに常態化していることに、私はちょっとおおげさですが「民族の衰え」、そして古い言葉ですが“亡国の”スマホを思ったのです。

《人口減》

2022年に生まれた赤ちゃん(出生数)は80万人を下回りました。1973年の出生数ピーク209万1983人から79万9728人に。50年で半分以下、60%の激減です。このままいくと、これから50年もたたないうちの2065年には、日本の人口は9000万を割る見込み。日本の少子高齢化は異常ともいえる早さで進んでいます。

とはいえ、それがスマホとどうつながるのか。スマホにかじりつきあたりがまるで見えないような向いの席の女性も、あんがい子沢山かも知れない。他方、47都道府県のなかで出生率が最も高い沖縄でも、出生数が減り始めています。2022年の同県出生数は1万4143人ですが、死亡数はそれを上回り県人口はマイナス263人、「ついに自然減に転じた」(『沖縄タイムス』2023/3/3社説)のです。しかし沖縄は地下鉄などない車社会で、「座席の1列スマホ漬け」の光景などありません。スマホと少子高齢化とを結びつける合理的根拠などあるわけがないでしょう。

そもそも、人口が減るのは悪いことなのか。7、80年前には日本は「狭い国土に人がたくさん」を嘆かれる国でした。世界一だった中国の人口は2022年から減り始め、世界一をインドに譲ったようです。そのインドの人口も2063年にはピークとなり、「その後人口増が目立つのはアフリカくらいだ」(『日本経済新聞』2022/7/13)とされています。つまり日本人は、そして人類は、その数が増えたり減ったりしている地球上の動物の一種であって、人口動態を国の盛衰に直結したりするのは愚かなことというべきではないのか。人口減で、日本の経済活動規模つまり国民「総」生産(GNP)が、人口10倍の中国のGNPより少なくなったようなことも、無暗に引け目に感ずることではないでしょう。

《ナンバーワン失墜から》

問題は、人口が減ること自体ではなく、減ることに無用なコンプレックスを持つことです。そう言えば、高度成長期にはなかった安倍政権以来の著しい軍事傾斜

6.4 オール埼玉総行動 中央集会に集まろう!

ここ2年はコロナ禍で規模を縮小し、各地域に分かれて行ってきました。今年はフル規格で行います。例年1万人ほどを集めています。首都圏でも有数のスケールのアクションです。

- 日時:6月4日(日)10:00開会 政党あいさつ/集会后パレード
- 場所:さいたま市北浦和公園(京浜東北線「北浦和」駅西口下車すぐ)
- ゲストスピーカー:小林節さん
- 主催:オール埼玉総行動実行委員会



「越谷九条の会」趣意

- ①政党・宗教を持ち込まない
- ②個人で参加する
- ③誰でも参加できる(住所不問)
- ④決定は極力全員一致
- ⑤個人情報以外の目的に使わない
- ⑥会費なし、カンパで運営

賛同者 1004人 (2023.3.31現在)

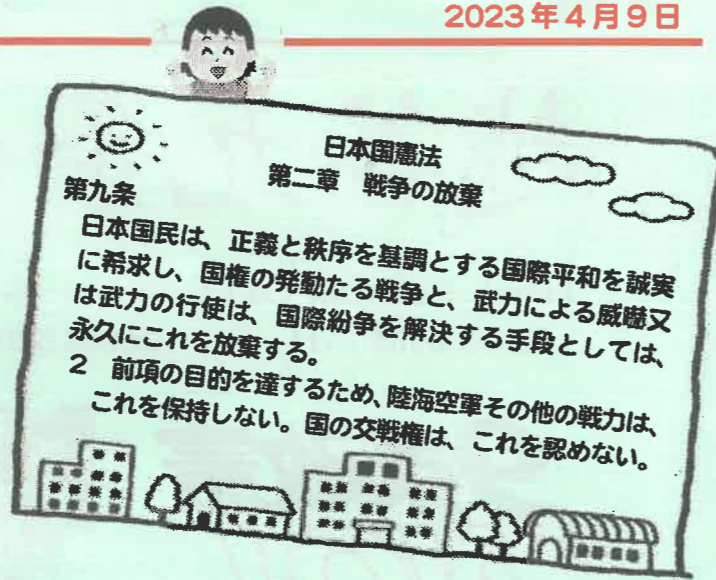
会計報告 (2023.1.1~3.31)

収入の部		支出の部	
緑越金	266,711	市民意見広告料	4,152
カンパ	176,773	ニュース・チラシ印刷・冊子・作業	8,148
合計	443,484	ニュース発送代	24,535
		編集代(1年分)	10,000
		駐車料	700
		合計	47,535
		差引残高(緑越金)	395,949

は、「ジャパン・アズ・ナンバーワン」を台頭する中国に抜き去られたコンプレクスのなせる業だと思ひ当たります。世界に誇れるのはほとんどそれひとつだった経済の優位（「ナンバーワン」）を失って、核を持ち航空母艦も持ち始めた中国がいやがうえにも大きく見える。北朝鮮はやたらとミサイルを撃ち上げ核開発を進めると高言する。そうした北東アジアの安全保障環境の変化に対応して、安倍政権は非戦の憲法を踏み越え、集団的自衛権行使容認を閣議決定、それを後付ける戦争法規、武器輸出の抑制撤廃へと軍事にのめりこんでいった。安倍政権のそうした動きに、ナンバーワン失墜によるコンプレクスにとらわれていた日本人の多くが暗黙の支持を与えたのではないのでしょうか。

〈敵基地攻撃も専守防衛〉

そして、ロシアのウクライナの侵略です。安倍政権以来の軍事傾斜を引き継ぐ岸田首相は、ウクライナ戦争を台湾有事に結びつけたうえ、日本有事への備えと称して外地をミサイル攻撃することまで「専守防衛」の中に持ち込もうとしています。軍事費を「GNPの1%以下」としてきたこれまでの自民党政権の防衛予算基準を突然破って2倍の「2%」するという。2023年度の軍事予算は、前年度より3割近くの急増で6兆8219億円に。「ウクライナ」を後ろ盾にするかのようなこうした軍事へののめり込みもまた、日本人の多くが支持すると踏んでの事でしょう。



少子化 / 人口減や経済成長の衰えに対するコンプレクスは、悪くすると国威の回復 / 発揚のための軍事力増強を暗黙のうちに支持することにつながりかねません。“亡国の”スマホを言い立てたりするのも、控えるべきでしょうか。

それにしてもと思います。老いも若きも、男も女も、わき目もふらずにスマホに取りついているというか、取りつかれている。マスクとともに日本民族にしみついてしまったみたい“亡国の”スマホ、自分もやっていることは棚に上げて、つくづくそう思います。

平和憲法守ろう！ 埼玉弁護士会がパレード

埼玉弁護士会は3月8日、さわやかな日差しの中、「憲法に自衛隊を書き込むことに反対するパレード」を行いました。

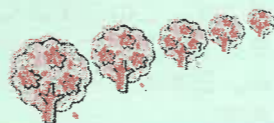
パレードに先立って、白鳥敏男会長から「埼玉弁護士会は2018年に『自衛隊を憲法に明記する憲法改定に反対する総会決議』をし、以降、今回と同様のパレードを定期的に行っている」との挨拶がありました。

その後、埼玉県庁東門から浦和駅西口まで、所属弁護士や市民ら100名が参加しパレードを行いました。宣伝

カーから通行人に対し、「国民の議論を経ずに、閣議決定のみで憲法を変更することは絶対に許せません。平和憲法を守って、戦争を防ぐべきです。」とアピール。参加者は「平和憲法を守ろう」と「9条改憲NO!」と書かれた2つの横断幕を手に、「戦争絶対反対!」「憲法9条守れ!」「自衛隊を戦争に出すな!」「平和は戦争でなく外交で!」と、元気にシュプレヒコールしながら行進しました。(飛山幸夫)

活動報告 2023年1月~3月	
1・9	会報76号発行 220回運営委員会(石河事務所)10名
1・14	「春日部九条の碑」見学会 6名
1・20	オール越谷街頭宣伝(越谷駅東口広場)15名
2・9	221回運営委員会(石河事務所)10名
2・17	オール越谷街頭宣伝(越谷駅東口広場)15名
2・25	オール越谷「軍拡反対」街頭宣伝(南越谷駅前)20名
3・8	埼玉弁護士会「平和憲法守ろう」デモ(県庁~浦和駅西口)100名
3・9	222回運営委員会(石河事務所)10名
3・19	オール越谷「軍拡反対」街頭宣伝(越谷駅東口広場)20名

活動予定 2023年4月~6月	
4・6	埼玉安保違憲訴訟控訴審判決(東京高裁)14:30
4・9	会報77号発行 223回運営委員会(石河事務所)18:30
5・3	憲法大集会(有明防災公園)13:00
5・9	224回運営委員会(石河事務所)18:30
5・13	第19回越谷九条の会総会・講演会(中央市民会館)14:00
6・4	オール埼玉総行動(北浦和公園)10:00
6・9	225回運営委員会(石河事務所)18:30



「春日部九条の碑」見学会

1月14日(土)越谷九条の会員6名で、春日部小淵山観音院にある「九条の碑」を見学しました。春日部駅東口からタクシー分乗で行きました。寺は1258年開山の天台宗系本山派修験寺院で、円空彫刻による円空仏があります。あらゆるご利益があり、祈願寺として古くから信仰されていたそうです。

碑は山門の脇の目立つ所にありました。碑には「憲法前文」と「九条」が刻まれており、裏面には434名の個人名と30の団体名が刻まれていました。春日部九条の会の島山さん、角田さんから建設に至るまでの苦労話をお聞きしました。この地に建設できたのは、この寺が祈願寺で檀家寺でないのが幸いしたとのこと。「百聞は一見に如かず」来てよかったと思いました。越谷でも、



見学会参加メンバー。「春日部九条の碑」の前で

憲法を暮らしに生かし実らせる活動を、草の根から作っていく決意を参加者全員で確認しました。(河田隆司)

2.25 / 3.19 オール越谷街宣「大軍拡反対の声を挙げよう」

〈越谷の統一地方選挙では、憲法を守り・生かし・実らせる野党候補者に投票し、自民・公明・維新などの軍拡推進・容認勢力を拒否しましょう!! 暮らしと命を守る・子供達を守る!! 悪政を断ち切ろう!!〉のスローガンを掲げて、2月25日(土)南越谷駅通路、3月19日(日)越谷駅東口広場でオール越谷街宣を開催、市民のスピーチと歌をまじえて、「地域からも野党候補の応援をして、選挙に関心を寄せて棄権をしないで投票をしよう」と訴えました。



コカリナの演奏と戦争体験を語るYさん

“ひまわり”などの曲のコカリナ演奏、福井大空襲の実体験・東京大空襲での米軍の殺戮行為・農村への空爆実験等の数々の生々しい話、消費税・インボイス廃止の訴え、武器よりも食料・人権・貧困対策等に税金を使うべきとの訴え、マイナンバーカードの危険性の話、平

和を訴えるギター演奏と歌声、また“憲法を守れ!戦争NO!大軍拡反対!”のプラスターも掲示され集会を盛り上げました。戦争前夜であるのにメディアに期待できない状況の中、今後も市民の力を結集して平和な日本を築いていきましょう。

(オール越谷市民アクション共同代表/河田隆司・加藤富美子)

埼玉の安保法制違憲訴訟

4月6日控訴を棄却!!

「主文 原告らの控訴を棄却します」、そう言って引込む高裁の小林宏司裁判長らに、傍聴席から怒号が飛び交い、越谷からいつも駆けつける吉田、飛山、辻、石山、堀場、西陰さんたちも落胆の様子で報告集会に参加しました。

弁護団の佐々木新一弁護士は「さいたま地裁同様憲法判断をせず、『切迫した危険が客観的に生じているとは言えない』として棄却したが前進面もある。まだ『原告の立証が足りない』というのなら、河野克俊元統合幕僚

長の証人尋問もぜひやってほしかった」と述べ、さらに「先日勝利した生活保護訴訟も、これでもか、これでもかと押してようやく勝ち取れたものだ」とのこと。

北澤、伊須両弁護士のお話のあと今後のことに話が及び、「上告すると合憲判決が出るかも」と心配する一方、「是非とも上告すべきだ」との声もあり、今後、全国の裁判の進展状況を見据え、原告の皆さんの声に耳を傾け、判断しようということになりました。

石河弁護士もお疲れ様でした。(4月7日 倉橋綾子記)

振込み用紙通信欄から——会員・読者の声

- 変わらぬ活動ありがとうございます。1000人嬉しいです。(Y・Mさん)
- 日本のみならず国が目指すべきは9条であると、それ以外にどのような平和の道筋があるのでしょうか。(M・Nさん)
- いつもニュースありがとうございます。コロナもあり4年ほど越谷には行けておらず、今回で越谷9条の会は退会することにします。越谷で人権講演をしたダニーさんも近くにおり、毎月スタンディングをする仲間です。こちらでの行動を一層強めていきます。お体を大切に。(H・Sさん)

※おたより有り難うございます。小さな通信欄ですが、今後もご意見などお待ちしております。